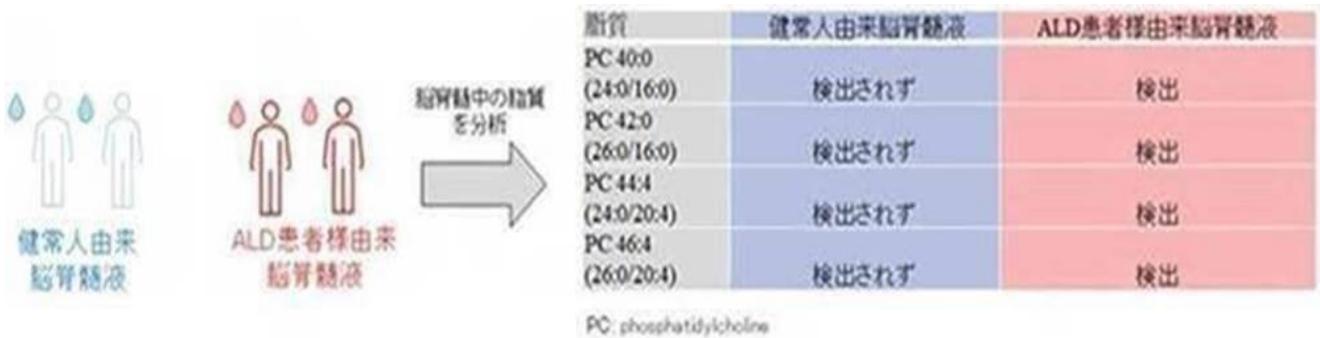


【副腎白質ジストロフィーの患者様由来脳脊髄液中にて病態マーカー候補分子を同定】

副腎白質ジストロフィー(Adrenoleukodystrophy; ALD)は原因遺伝子であるABCD1の機能不全により、中枢神経系をはじめとした各種組織に極長鎖脂肪酸が蓄積することを基盤として発症すると報告されています。血液中の極長鎖脂肪酸はALDの診断マーカーとして確立されていますが、神経症状とは相関しないことが知られており、症状と相関する新規の分子が強く求められています。本研究では、ALD患者様よりご提供頂いた脳脊髄液中の極長鎖脂肪酸含有脂質を解析することで、ALD患者様にのみ存在する特徴的な極長鎖脂肪酸含有脂質^{*}を世界で初めて同定しました。本研究で見出された脂質と神経症状との相関を将来的に解析することで、症状と相関する分子の発見に繋がることが期待されます。 ^{*} PC 40:0(24:0/16:0), PC 42:0(26:0/16:0), PC 44:4(24:0/20:4), PC 46:4(26:0/20:4), PC: Phosphatidylcholine



Fujitani N, et al. Biol. Pharm. Bull. 45(11):1725, 2022

